

第2回企画委員会開催

開催日時 平成25年11月20日（水）13時30分～15時30分
開催会場 福島市男女共同参画センターウィズもとまち 4階 大会議室

委員 委員長 矢澤 良伸 （会津若松市教育委員会スポーツ推進課長）
副委員長 菅家 礼子 （福島大学人間発達文化学類教授）
副委員長 中島 道男 （うつくしま総合型スポーツクラブユニオン会長）
委員 穂本 哲哉 （福島県高等学校体育連盟理事長）
越尾 咲男 （福島県スポーツ指導者協議会会長）
佐々木祐司 （福島県中学校体育連盟会長）
高橋 吉市 （公益財団法人福島県体育協会スポーツ少年団副本部長）
沼崎 邦浩 （社団法人福島県医師会常任理事）
浜中 順子 （福島テレビ株式会社報道部アナウンス担当部長）
穂積 祐司 （福島県教育庁健康教育課指導主事）
本多 勉 （福島県レクリエーション協会会長）
松田 義 （福島県スポーツ推進委員協議会理事長）
森崎 俊紘 （福島県トライアスロン協会副会長）

報告事項

- （1）平成25年度うつくしま広域スポーツセンター事業の進捗状況について
- （2）うつくしま総合型スポーツクラブユニオン事業について

協議事項

- （1）平成26年度うつくしま広域スポーツセンター事業へ向けて

<会議の概要>

報告では「学校との連携事業」をかつらおスポーツクラブが「競技団体との連携事業」をもとみやスポーツネットワークとにほんまつ城山クラブが推進クラブとなって事業がスタートしたことが報告された。委員からは「学校との連携事業」で開催したかつらおっ子運動教室は震災後一緒に活動することがなかった子ども達が再会する場にもなったとの話がありました。「競技団体との連携事業」では地理的に愛好者が集まりやすい本宮市でトライアスロン教室を開催しているので効果的であることなどの話もありました。

協議では、地区の拠点となるクラブを支援する事業について委員から意見をいただきました。地区の拠点となるクラブが周辺クラブと事業を実施していく中で、情報提供や指導者派遣が促進されていくようにしていく事業イメージから具体的に広域スポーツセンターが支援する内容についてご意見をいただきました。

平成26年度のうつくしま広域スポーツセンター事業がより充実したものとなるように事業計画を具体的なものとして参りたいと思います。委員の皆様の貴重なご意見に感謝申し上げます。

次回、第3回企画運営委員会は3月に開催される予定です。



矢澤委員長にご挨拶いただきました。



次年度の事業へ向けて貴重なご意見をいただきました。

第2回フォローアップセミナー

開催場所 郡山市安積総合学習センター
開催日時 平成25年12月8日（日）10時00分～
出席者数 33名

<会議の概要>

クラブ運営に関する研修を通してクラブ関係者のスキルアップを図り、今後のクラブの円滑な運営に資することを目的として行われました。

セミナーⅠ「今改めて考える、地域スポーツクラブのあり方とは」

講師：白鷗大学教育学部 准教授 藤井 和彦 氏

総合型地域スポーツクラブはスポーツクラブとしての役割を果たしているのか。また、スポーツから得られるベネフィット（お金ではない利益）を提供できているのかという話がありました。今後の総合型地域スポーツクラブの経営では、施設に来てもらう、運動をしてもらう、クラブを支えてもらう仕組み作りについてお話をいただきました。



セミナーⅡ「総合型スポーツクラブは生き残れるか」

講師：東洋大学ライフデザイン学部 教授 齊藤 恭平 氏

総合型地域スポーツクラブではスポーツジャンル以外の人や団体との結びつきを強くし、他団体の持つ多くの財産を活用していくことの大切さについての話をいただきました。既成概念にとらわれない、新たなアイデアがクラブを救う手立てになることを教えていただきました。



セミナーⅢ「クラブパレットを解剖する」～NPO マネジメント～

講師：NPO 法人クラブパレット GM 榎 敏弘 氏

クラブの経営に関する熱い想いを語っていただき、クラブを経営する者の役割やクラブの目指す方向性が見いだされました。100年後のNPO法人クラブパレットの構想などを話していただき、参加者一同が元気になる話をいただきました。



第3回双葉地区総合型スポーツクラブユニオン

開催場所 いわき市生涯学習プラザ
開催日時 平成25年12月4日（水）

<会議の概要>

県ユニオン事業の進捗状況や今年度の双葉ユニオン交流事業の報告と次年度の双葉ユニオンの協議、規約及び役員改選の時期について話し合われました。

<県ユニオン・双葉ユニオンの事業について>

県ユニオン事業の進捗状況報告では、双葉ユニオン会長である中島道男氏から夏に盛大に行われた県ユニオン研修会及び交流事業の報告がなされました。

また、今年度川内村で実施した双葉ユニオンの活動報告と来年度に広野町で実施される交流事業についても話し合われました。

広野みかんクラブのクラブマネージャーである大和田氏からは、次のような提案がありました。

来年度は参加者に広く楽しんでもらえる内容にするため各町村の物産展を開催するなど、広野町に住みたいと思われるような内容にしたい。

<規約・組織について>

「双葉ユニオン」は震災によって、正式に双葉ユニオンとしての規約や組織ができていなかったもので、今回の会議では規約の提案がされ了承されました。その後、規約に従い委員会が開催されて組織編成や負担金のことなどが決定しました。

会議の終わりに中島会長から、双葉ユニオンとしてはアフターtotoを見据えての若手のクラブマネージャーを育てるための研修会などを開催し、クラブ間の連携を強めて単独クラブではなく複数クラブで実施できる事業の展開も考えていかなければならないというクラブやユニオンの将来のことを考えた話をいただきました。



第4回会津地区総合型スポーツクラブユニオン

開催場所 会津稽古堂第2研修室
開催期日 平成25年12月13日(金)
参加者 20名

<会議の概要>

今回のユニオンは、クラブアドバイザーの板垣氏をコーディネーターとして研修会を実施しました。板垣氏よりアフターtoto に向けての課題や助成金の活用の仕方についての説明があり、パネラーとなった3クラブの代表へ質問しながら進める形式で行いました。パネラーとなった代表は、「クラブの最大の課題」「具体的ビジョン」「モチベーションを高めるための方策」などについて、クラブの財務状況や自身の経験から意見を述べました。クラブの設立方法や運営方法、行政との連携方法などが異なるために、課題となることはクラブごとに違いますが、その中での共通点として、アフターtoto に向けた自主財源の確保が挙げられました。板垣氏からも事業性と公共性の重要性についての説明があり、事業性を高めるために受益者負担による定期プログラムの必要性を述べられました。パネラーとなった方々は、日常では十分に検討する時間がないクラブのビジョンや事業性などについて振り返り、新たな目標を設定できた機会となったと思います。パネラーの皆様、ありがとうございました。



〔パネラーの皆さん〕

会津美里クラブ衆の富田氏（右）
スポーツクラブバンビの二瓶氏（中央）
謹教スポーツクラブの星氏（左）



〔コーディネーター〕

クラブアドバイザー板垣氏



真剣に話を聞くクラブ関係者の皆さん

研修会後は、協議事項として西会津町のふるさとまつりに参加した、会津地区交流イベントについて検証しました。事前に成果や課題、来年度に企画したい事業等をアンケートし、事務局クラブがまとめていたのでスムーズに進めることができました。

情報交換では、きたあいづスポーツクラブから、平成26年1月25日（土）に実施される「スノーバトル」についての説明がありました。たくさんの参加をお待ちしているそうです。



あいさつされる福西会長



イベントの検証として西会津SCの土田氏より町の声話をいただきました。



協議や情報交換は、前田理事長に進めていただきました。



スムーズな進行をしてくださった湯浅氏

—競技団体との連携事業—

ラグビー体験教室・指導者講習会（にほんまつ城山クラブ）

開催場所	二本松市城山総合体育館
開催期日	平成25年12月5日（木）、12日（木）19時00分～20時30分
指導者	にほんまつ城山クラブラグビー指導者（県ラグビーフットボール協会指導者）
参加者	12名

「にほんまつ城山クラブ」と「うつくしま広域スポーツセンター」で、ラグビー体験教室及び指導者講習会を開催しました。にほんまつ城山クラブラグビー教室は、ラグビーフットボール協会と連携し、専門的な指導を受けることができる教室としてH22年にスタートし、現在は45名の会員が活動しています。今回の事業では、安達地区（二本松市）の競技者の獲得、同地区総合型クラブ内での部門設置及び県内普及を目的に開催しました。体験教室には12名の子ども達が参加し、指導者の熱心な指導によりラグビーの楽しさにふれ、正式に会員となりました。今後も随時参加者の受け入れを行っていきますので、興味・関心がある方は「にほんまつ城山クラブ」「うつくしま広域スポーツセンター」までお問い合わせください！

今後、本センターとしては、にほんまつ城山クラブ内に中学生部門（ラグビー部門）が設置され、小学生から高校生までが一貫指導を受けられる体制を整備し、総合型クラブによる競技力向上が図られることを期待しています。



—競技団体との連携事業—

トライアスロン体験教室（もとみやスポーツネットワーク）

開催場所 本宮市民プール
開催期日 平成25年12月～平成26年2月 **毎週水曜日開催。参加者募集中！**
指導者 県トライアスロン協会強化委員長、日本トライアスロン連合強化チーム
対象 競技者（ジュニア、一般）、初心者、愛好者

もとみやトライアスロン倶楽部では、全国トップクラスの指導者である蓮沼氏がコーチとして指導にあたっています。蓮沼氏は日本トライアスロン連合「オリンピック対策プロジェクトU15リーダー」であることから、オリンピックに出場したいと夢を持っている子ども達の、夢追い請負人となることは間違いありません！

是非、オリンピックの出場に挑戦したい子ども達の参加をお待ちしています！もちろん生涯スポーツとして、トライアスロンに取り組みたい成人、中高年の皆様の参加もお待ちしております！

<お問い合わせ>

〇もとみやスポーツネットワーク事務局 0243-33-2611

〇うつくしま広域HPに募集チラシを掲載しています。

Let's enjoy sports

もとみやスポーツネットワーク

トライアスロン倶楽部

★ナショナルコーチによる★

—体験教室—

★県内でトライアスロンができる、ただ一つの教室★

- トライアスロンを体験したい・・・！
- 専門的な指導を受けたい・・・！
- 競技者として好成績をあげたい・・・！

【開催期日】 平成25年12月～平成26年2月 （詳細はHPに掲載しております）

毎週水曜日 随時参加可 19:00～21:00

【会場】 本宮市民プール・体育館

【内容】 スイム・バイク・ラン他

【参加料】 無 料

【申込先】 申込用紙に必要事項記入の上
『もとみやスポーツネットワーク』事務局へ
FAX 0243-33-2611 TEL 0243-33-4488

【コーチ】 もとみやトライアスロン倶楽部コーチ 蓮沼 哲哉 氏
（県トライアスロン協会強化委員長）（日本トライアスロン連合強化チーム）

<後援> 公益財団法人 福島県体育協会 うつくしま広域スポーツセンター

平成25年度ウォームアップジャパンfrom Tokyo

ふくしま大運動会in南会津



開催場所 平成25年11月9日(土)
会 場 桧沢小学校体育館・校庭
檜沢中学校体育館、旧針生小学校体育館
参 加 者 約500名



色鮮やかな山々に囲まれた南会津町において、「スポーツの力で南会津郡（福島県）を元気にする」「アスリート・コーチとの交流を通して、南会津郡内の子どもたちに夢と希望を与える」目的で、ふくしま大運動会 in 南会津が行われました。このイベントは、東京都、一般社団法人日本アスリート会議が主催し、ふくしま大運動会実行委員会、南会津総合型スポーツクラブユニオンの全面協力で開催されました。

スポーツクリニックの講師は、柳本晶一氏（バレーボール）、岩城ハルミ氏（バドミントン）、水井妃佐子氏（バドミントン）、三科真澄氏（ソフトボール）、大石寛之氏（剣道）に務めていただきました。オリンピックや世界大会に出場されたアスリートの方々が、子どもたちと触れ合いながら、競技の基礎的な技能や心構えについてご指導くださいました。また、スポーツトークショーでは、各クリニックのポイントや競技のきっかけと苦難の乗り越え方などについて熱く語っていただきました。最後には、お楽しみ抽選会もあり、楽しく思い出に残るイベントとなりました。

開会式



主催者あいさつ
東京都 三浦氏



歓迎のあいさつ
南会津町長 大宅氏

講師の先生方

右から
柳本晶一氏（バレーボール）
大石寛之氏（剣道）
岩城ハルミ氏（バドミントン）
水井妃佐子氏（バドミントン）
三科真澄氏（ソフトボール）



スポーツクリニック・スポーツフェアプレー



柳本氏より、アンダーハンドパスの姿勢や足の運び方など様々な指導を受けました。ボールコントロールには肩や腕に力を入れ過ぎないことがポイントのようです。参加した中学生は、指導されたことを意識しながら、楽しく練習や試合に取り組みました。



午前中は、バドミントンの動きの基礎となるトレーニングをたくさん行いました。難しい動きもありましたが、子どもたちはかけ声をかけながら、元気に取り組みました。小さい子は、ラケットでシャトルを持ちあげる練習もしました。講師の先生方のスマッシュの速さと音、そして、しなやかな手首の使い方が印象的でした。



約80名の小・中学生が参加しました。竹刀のさばき方や身体の使い方など、実演しながら説明してくださいました。大石氏の技を出す踏み込みの速さ、声の大きさには、圧倒されました。午後は、地元の先生方を相手に試合形式の練習に取り組みました。



ソフトボールは、グラウンドいっぱいに声を出すことから始めました。実技指導では、スタッフの学生がティーバッティングの手本を示すと、その距離に「オー。」の大歓声。その後、子どもたちがティーバッティングをしました。また、ポジションごとにノックも行いました。午後はチーム対抗の試合を行い、交流を深めました。

スポーツトーク



進行をいただいた清野氏（北会津中教諭）と美齋津氏（日本アスリート会議）



各講師の先生からは、目標を持つことや準備（技能を獲得する準備、日常生活での準備）を怠らないことが大切であるとお話がありました。特に、柳本氏からは、トップアスリートになれる人は「素直な人」であることのお話があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。

クラブアドバイザーレポート vol. 2

うつくしま広域スポーツセンター クラブアドバイザー 板垣晶行

今回のクラブアドバイザーレポートはアフターtotoの成長戦略についてですが、現場クラブにおけるその取り組み事例を紹介します。

I アフターtotoの成長戦略について

皆さんも感じていると思われますが、今年度から我々総合型クラブには「自主・自立」の期待や要望が高まっています。幸いにも被災3県にはまだ toto 事業の特別枠があり福島県は来年度も優遇されていますが、他の44都道府県はますます厳しい助成条件が提示されました。しかし助成金の本来のあり方から判断すると、今後クラブがこの自主・自立に向けて挑戦することは当然必要なことであります。

総合型クラブのミッションは地域づくりであることは、皆さんのクラブ規約や定款の目的に記載されていますので共通の認識であろうかと思えます。地域づくりに必要な要因は事業の継続であり、事業の継続にはクラブの自主・自立が必携となります。なぜならば行政や toto の金銭的な助成は期間限定で有期であるからです。

総合型クラブが仲良しクラブでなく、本来まちづくりを推進する宿命を担っていますので、この自主・自立に向けた成長戦略には「公共性（公益性）と事業性」が重要となります。公共性とはクラブの地域における存在価値であり地域貢献活動の実績です。また事業性とはクラブが自由に活用できる自主財源の確保であり自主財源率の高揚であります。今回は「公共性（公益性）」について紹介します。

II 自立に必要な公共性について

さて、本題でありますクラブ訪問の最新情報を紹介しましょう。今年度（H25）は toto 助成を活用している県内65%のクラブ現場を優先的に訪問してきましたが、そのアフターtoto対策の「公共性」の事例を紹介したいと思います。

今回は会津地区「会津美里クラブ衆」、県南地区「はなわふれあいスポーツクラブ」のチャレンジを紹介します。両クラブには10月上旬に訪問しましたが共通項目は「法人格の取得と指定管理者の認定」です。

会津美里クラブ衆は、もうすでに来年度（H26）の指定管理者認定に向けた具体的な対応業務を推進しています。町の指定管理者要件はまず法人格の取得でありまして、これは順調にNPO法人の認証に向けた準備が進行しており、9月までにはNPO法人の設立総会並びに認定申請書の提出も終了済みです。現在はこれを受け平成26年4月からの指定管理者の認定に向け、町担当者と募集選定の要件や施設の運営管理の仕様条件などについて情報収集の活動を実践中です。

また、はなわふれあいスポーツクラブも自立に向けた同様の準備作業に挑戦中で、具体的にはクラブ衆にちょうど1年遅れる形ではありますが、法人格取得と指定管理者の認定を目指しています。

もちろん両クラブとも指定管理者になることが最終目的ではありません。これまで行政が直営でやっていた健康づくりや子育て支援、介護予防などの事業をクラブが受託し、指定管理施設を有機的に活用し実践することも有効な地域貢献活動であり、このことにより事務局の人件費確保につながる可能性もあります。また、施設の運営管理のみならず指定管理施設を拠点とした住民目線の各種プログラムを自主的に事業展開することも、収益のあがる事業の開発に繋がり同時にクラブの地域における存在価値が高まります。



会津美里クラブ衆



はなわふれあいスポーツクラブ

Ⅲ 持続可能な自立のしくみづくり

両クラブとも地域づくりを推進する「新しい公共」として行政から期待されているクラブですが、いつまでも行政の金銭的な支援は不可能です。しかし行政は地域づくりに真剣に挑戦するクラブに対しては、自立のための事業支援は検討していると信じます。

これからのクラブに求められていることは、行政と協働した「持続可能な自立のしくみづくり」に挑戦することです。このことがクラブの自主・自立に向けた公共性や公益性であり、その成功事例は今後県内のみならず全国のクラブの良きチャレンジとなることを期待しています。